

○事実関係

発生日時：平成28年8月5日(金) 12時13分頃

発生場所：新千歳空港 国内線ターミナルビル保安検査場A

事案概要：旅客が金属探知器を通過せず、保安区域(搭乗待合室)へ不正入場。12時25分出発予定の予約便に搭乗し出発。

<時系列>

- 12:11 搭乗手続が完了していなかったため、保安検査場入口で旅客に待機指示
- 12:13 当該旅客がA検査場の金属探知器横の隙間(幅約1m)を通過
- 12:14 当該旅客の行方がわからなくなり、検査職員が探索開始
- 12:20 搭乗口でも当該旅客の搭乗手続完了を確認できなかったが、本人確認等により搭乗手続を行い搭乗させた。
- 12:28 当該旅客を乗せたエアドゥ20便(羽田行き)が駐機場から出発
- 12:38 当該旅客が金属探知器を通過していないことが判明し、保安検査場を閉鎖
- 13:08 国内線を全便運航停止
- 13:15 再検査のため、保安区域から検査済み全旅客の退場開始
- 14:30 再検査開始
- 14:59 運航再開

<影 響>

1. 欠航	11便(出発 6便、到着 5便)	560名
2. 遅延	159便(出発100便、到着 59便)	21,837名
計	170便(出発106便、到着 64便)	22,397名

<既に実施中の措置(8月5日に航空局から指示済みの事項)>

- 1. 隙間からのすり抜け防止措置の徹底
- 2. 保安検査場内の検査旅客に対する監視の徹底
- 3. 搭乗券の確認の徹底
- 4. 事案発生の疑いがある場合、直ちに適切な対応の徹底